
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第25号（2017. 9. 25）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第25号をお届けします。

今回の活動組織紹介は、マスつかみ大会や収穫祭の実施、彼岸花ロードの作成により地域の活性化に取り組んでいる組織をご紹介します。

事務局からは、農村振興局がフェイスブックに掲載している記事をご紹介します。

==== 第25号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆鎌原みずほの会（群馬県嬭恋村）☆

☆佐世保西部農地保全会（長崎県佐世保市）☆

2. 生態系に配慮した施設を維持管理するには？ ～シリーズ5：外来種の取扱編～

3. 農村振興局フェイスブック掲載記事の紹介
（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆鎌原（かんばら）みずほの会（群馬県嬭恋村（つまごいむら））☆

当組織は、県北西部に位置する全国有数のキャベツ産地である嬭恋村東部の標高約1kmに広がる鎌原集落で活動しています。

高齢化の進行や農業者の減少により、耕作放棄地の発生や用水路の補修、草刈りなどの維持管理作業が一部の担い手に集中していたため、平成19年度に当組織を作り、地域一体となった環境保全活動や施設の管理に取り組んでいます。

当地域の水源である鎌原用水は年間を通じて4℃と大変冷たいため、温水ため池を設置していますが、このため池を活用して毎年8月にはマスつかみ大会を、また、11月には地元食材を振る舞う収穫祭を開催し、去年は都市住民を交えてそれぞれ450人と140人が参加し、都市住民との交流も盛んになっています。

平成 28 年 9 月には、孀恋村を含む「浅間山北麓ジオパーク」が日本ジオパークに認定され、観光客も増加しています。当組織では、耕作放棄地を活用してあやめの植栽を行っています。観光客の目を楽しませようと植栽活動もますます盛り上がっています。

活動を通じて地域の一体感が醸成されたことで、農地や農村環境を自分たちで守る意識が根付き、遊休農地の発生が抑えられています。村内でも活動が認められ、村の広報誌でも紹介されました。

今後も、活動の推進に取り組み、地域の発展を目指したいと思います。

◎「浅間山北麓ジオパーク」については、こちらからご覧ください。

<https://mtasama.com/>

【鎌原みずほの会 代表 小嶋良一】

☆佐世保西部農地保全会（長崎県佐世保（させぼ）市）☆

当保全会は、市北東部に位置する水稻が盛んな急傾斜地帯で、約 120ha の農地を保全管理しています。

平成 23 年、当時の保全会の代表が村おこしの方法を模索していた時、他県で見かけた稲穂に映える彼岸花のあまりの美しさに感銘を受けたことをきっかけに、彼岸花ロードによる村おこしをすることとし、保全会の共同活動として取組を開始しました。一番苦労したのは球根の入手で、九州各県に出向き 2.5t の球根を調達しました。

彼岸花球根を農道の路肩や棚田の畦畔に植え付け、枯らさないよう管理をし、総延長 27km の彼岸花ロードが完成しました。平成 26 年 9 月には、幼稚園児と農家と一緒に散策会を行い、園児たちが楽しそうに歩く姿に心が和み、やってよかったという実感が湧きました。

今は、地域外も含め、より多くの方々にも散策してもらえるような工夫ができないか、日々、役員で思案しています。更なる地域活性化のためにも、本交付金を活用した活動を続けていきたいと思っています。

【佐世保西部農地保全会 代表 宮崎 敦】

■ 2. 生態系に配慮した施設を維持管理するには？ ～シリーズ 5：外来種の取扱編～ ■

もともとは生息していなかった地域に、人間によって持ち込まれた生物を外来種といいます。外来種の中には、生態系や人の生命・身体、農林水産業等に被害を及ぼすものがあります。施設の維持管理において、外来種の拡散を抑えることは、これらの被害の防止に有益となる場合があるので、極力意識して取り組むことが必要です。

例えば、オオカナダモのように、植物の断片で増える水草の場合、網等を用いて植物の断片を下流部に流さないようにし、拡散を防ぎます。また、陸生植物のセイタカアワダチソウのように種子で増える種類は、種子が成熟してしまうと、こぼれた種子から発芽するので、種子が成熟する前に防除を行います。

その他、外来種の取扱のポイントについては、以下のマニュアルを参考にしてください。なお、本マニュアルに掲載している取組に本交付金の活用が可能かどうかは、活動計画の内容や自治体によっても異なる場合がありますので、詳しくは自治体や推進組織にご相談下さい。

◎「生態系配慮施設の維持管理マニュアル」（農林水産省 HP）

外来種の取扱についてはマニュアル（分割1）第3章の5をご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/index.html

【農林水産省 農村環境課 農村環境対策室】

■ 3. 農村振興局フェイスブック掲載記事の紹介 ■

農林水産省農村振興局では、フェイスブックを通じた情報発信を行っています。

多面的機能支払交付金の活動組織の取組も、写真や動画とともに紹介していますので、フェイスブックを利用されている方は、是非ご覧ください！なお、記事に対して「シェア」や「いいね！」をすると、その記事がより多くの方の目に触れることになり、農業・農村の多面的機能を支える地域の取組のPRにも繋がります。よろしければ応援してください。

ここでは、今年上半期に紹介した活動組織が支える地域の取組の記事を、まとめて紹介いたします。

▽9月▽

技あり！

<https://www.facebook.com/nouson.maff/videos/1889519777967111/>

ヒアリだけじゃなかった・・・

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/1882272495358506>

▽8月▽

田んぼの展覧会？

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/1873497179569371>

復興のひまわり

<https://www.facebook.com/nouson.maff/videos/1873148699604219/>

▽7月▽

夏の田に映るともしび

<https://www.facebook.com/nouson.maff/videos/1857746301144459/>

▽5月▽

遊休農地が教室に変身

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/1832640643655025>

法面一杯に咲くシバザクラ！

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/1825845004334589>

◎ 農村振興局 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/nouson.maff/>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 編集後記 ■

先日、箱根へ旅行に行ってきました。富士山を一度も見たことがなかったので、富士山を見るのを楽しみに、箱根からロープウェイに乗って芦ノ湖へ行きましたが、晴れにも関わらず、ちょうど富士山の前に大きな雲が立ちはだかり、見ることはできませんでした。一緒にロープウェイに乗っていた家族が「日頃の行いが悪いから富士山見れなかったのかなあ」とつぶやき、それを聞いて少し心が痛みました。雲に隠れない時期を見計らって再チャレンジしてみます。

地域独自の素晴らしい景観は全国各地にあるということを、活動組織紹介を読んでいつも感じています。時間を見つけて、地域の方が守っている各地の美しい景観を見に行ってみたいと思います。

◇平成 29 年度多面的機能支払交付金のあらましは、こちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身

の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：横田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
